

**地球深部探査船「ちきゅう」下北半島東方沖掘削試験について（速報）**  
**～掘削試験の状況および今後の予定について～**

海洋研究開発機構（理事長 加藤康宏）の地球深部探査船「ちきゅう」は、下北半島東方沖（八戸市北東沖約 100km）の試験・訓練海域（）において、掘削試験を継続中です。

機器調整および台風の影響のため、試験工程が遅れておりましたが、9月30日にBOP（噴出防止装置）の緊急離脱試験（※1）を完了し、10月4日14時に「ちきゅう」による初めてのライザー掘削（※2）を開始しました。引きつづき掘削試験を実施し、10月中旬にライザー掘削によるコア採取試験を予定しています。

- ※ 1 緊急離脱試験：荒天時等にライザーパイプをBOP上部から切離し、安全な海域へ避難する作業のための試験。
- ※ 2 ライザー掘削：掘削船から海底まで降ろしたパイプ（ライザーパイプ）の中をドリルパイプが通る二重管構造での掘削方法。ライザーパイプとBOPを用いて、海上での泥水循環掘削（泥水で孔壁を保護しつつ行う掘削）を行うことで、従来の掘削方法に比べ、大深度の掘削が可能となる。

お問い合わせ先

独立行政法人海洋研究開発機構

（「ちきゅう」、掘削試験について）

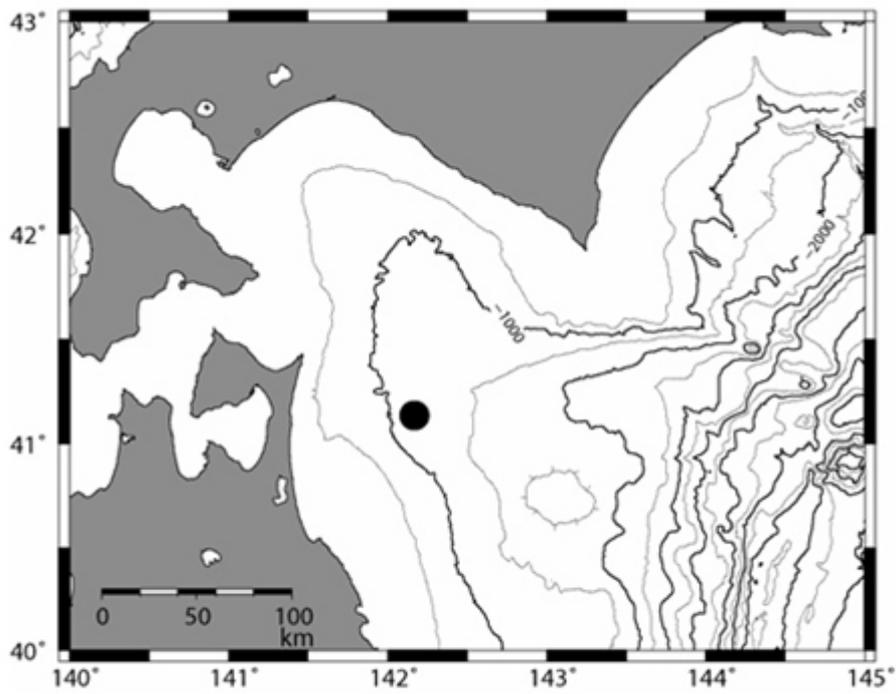
地球深部探査センター

企画調整室長 田中 武男 TEL：045-778-5640

（報道について）

経営企画室

報道室長 大嶋 真司 TEL：046-867-9193



(圖) 下北半島東方沖試験・訓練海域図←